

4月7日(月)、永平寺キャンパス講堂で令和7年度入学式を挙行了しました。今年度は、学部526名(編入学含む)、大学院53名の計579名が入学し、新たなスタートを切りました。

また、同日県立恐竜博物館で恐竜学部第1期生の入学セレモニーが開催され、新入生34名が学びの場となる勝山キャンパス建設予定地や恐竜博物館を見学しました。



2025年4月開設!

●恐竜学部 恐竜・地質学科

恐竜を含む古生物学や地質学を学ぶ日本初の「恐竜学部 恐竜・地質学科」を開設します。1年次は永平寺キャンパスで教養科目や地球科学の基礎を学び、2年次から勝山キャンパスで恐竜をはじめとした古生物学や地質学、古環境に関する専門知識や調査研究手法を学びます。

●国際センター

グローバル人材育成に向けた教育を強化するために「国際センター」を開設します。学生を対象とした英語やその他外国語の基礎・実践科目の提供のほか、英語等でのコミュニケーションを磨くグローバル空間の整備、海外留学や海外研修プログラムの提供をしていきます。

●地域連携センター

これまで本学の産学官連携の推進を進めてきた「地域連携本部」が「地域連携センター」になります。県内企業との共同研究や商品開発、大学発スタートアップの創出支援、研究成果の情報発信など地域とタイアップした様々な取組みをコーディネートしていきます。また、学生への就職支援やキャリア教育を行います。

●共通教育センター

教養的分野の講義を提供する「共通教育センター」を開設します。学生への共通教育科目の提供のほか、公開講座等さまざまな手段で地域社会への学術研究や教育活動の支援を行います。

客員教授の紹介

世界で活躍している恐竜研究者を客員教授としてお迎えしました。今後は、恐竜学部の特別授業や共同研究の推進等を行っていく予定です。



フィリップ・J・カリー 博士

カナダ アルバータ大学 教授

近代恐竜学を牽引してきた世界的権威。福井県立恐竜博物館の客員研究員も務め、フクイラブルの記載研究にも携わるなど福井県の恐竜研究にも貢献しています。



デイヴィッド・J・ヴァリッキオ 博士

アメリカ モンタナ州立大学 教授

恐竜の生態学的研究や、タフノミー(化石成因論学)といった堆積学的研究まで幅広く研究を行っています。また、これまでに本学教員との共同研究も行っています。



徐 星 博士

中国 中国科学院 古脊椎動物古人類学研究所 所長(教授)

世界で最も多くの新種の恐竜を記載しています。また、恐竜から鳥類への進化に関する研究を行っており、これまでの恐竜像に新たな知見を与える研究成果を数多く発表しています。



デイヴィッド・C・エバンス 博士

カナダ ロイヤルオンタリオ博物館 古脊椎動物部門長

北アメリカの白亜紀後期の恐竜を中心に、生態や多様性の研究を行っています。また、恐竜の脳と成長を専門としており、本学教員と共同研究も行っています。



スティーブ・L・ブルサッテ 博士

イギリス エジンバラ大学 教授

恐竜の進化、解剖学、絶滅など研究分野は多岐にわたります。メディアが製作する恐竜番組への監修・出演もしており、世界的に有名な恐竜研究者の一人です。

福井県立大学公式SNS

ぜひフォローしてください!



大学HPはこちら



FPU NEWS

Fukui Prefectural University

特別企画

福井の次の100年を支える大学へ 第4期中期計画 始動! クラブ&サークル紹介



2025年4月7日、恐竜学部第1期生の入学セレモニーを挙行了しました。



福井県立大学
Fukui Prefectural University

No.125

2025 春号



FPU NEWSについて
ご意見・ご要望をお寄せください。
抽選で県大グッズプレゼント!

福井の 次の100年を支える大学へ

福井県立大学では、6年ごとに大学の行動指針でもある中期計画を策定しています。法人化から19年目となる2025年度からは、次の4つを基本方針として「第4期中期計画」（2025年4月1日～2031年3月31日）をスタートします。

1 学生から社会人まで福井を支える人材を育成

福井の持続可能性を支える学部・研究科・センターの新設・再編

- 恐竜学部開設(2025年4月)
- 地域政策学部(仮称)開設(2026年4月予定)
- 既存の4キャンパスに加え、勝山キャンパス(2026年予定)、福井まちなかキャンパス(2027年予定)を設置し、公立大学有数の6キャンパスで運営
- 4センター体制により、情報・国際・地域連携・共通教育分野の取組みを強化



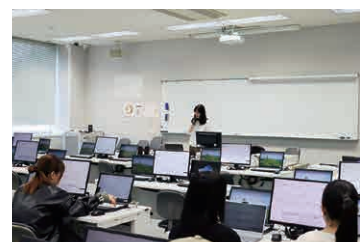
2025年恐竜学部開設(イメージ)



2026年地域政策学部(仮称)開設予定(イメージ)

学生の可能性を広げる特色ある教育の導入

- 文部科学省認定プログラムに基づく全学的な情報教育を強化
- 首都圏など異なる地域の大学で一定期間学ぶ国内留学制度を創設
- 企業や自治体等と連携した就労体験型学習(コオプ教育)を導入
- 地元経営者等を講義や実習指導に活用する特任講師制度を全学で導入



全学的な情報教育を提供

グローバル人材育成のための抜本的な体制および戦略の強化

- 国際交流を総合的に支援する国際センターを設置
- キャンパス内に英語等でのコミュニケーション力を磨くグローバル空間を整備
- 質の高い海外留学プログラムや海外研修、海外大学との交流等、多様な教育機会を提供
- 外国の高度人材を受け入れ、県内定着を図るための日本語教育体制を充実



キャンパス内での国際交流を支援

多様な学生確保や学生支援の充実

- 入試制度等の改革、社会人や外国人留学生の受入れ促進
- 卒業生ネットワークの構築、企業とのつながりを活かした就職支援を強化

リスキリング・リカレント教育の拠点整備

- 福井まちなかキャンパスに、リスキリング・リカレント教育を総合的に推進する拠点を設置し、企業ニーズに対応したリスキリングを強化

2 「研究力」を強化し、福井に新たな価値を創出

大学発の研究成果を社会実装に繋げる取組みの強化

- 地域の持続可能性を高める全学的な研究プロジェクトや共同研究・受託研究を推進

独創的な研究とイノベーション創出のための支援体制の強化

- 全学的な産学官連携体制を強化し、外部研究資金等の獲得や大学発スタートアップの創出を支援



輸入品目の県産化に向けたプロジェクト



カーボンニュートラルに向けたプロジェクト



3 公立大学有数の6キャンパスを拠点に戦略的な地域連携を推進

学部等の特性を活かしたプロジェクト展開による地域の課題解決やイノベーションの促進

- 6キャンパスの特色を活かした自治体、経済界等と連携したプロジェクトを展開
- 地域住民の健康福祉向上のための分野横断的な研究を推進
- 地域経済研究所が主体となる自治体等と連携した学生参加型の地域課題解決プロジェクトを推進



永平寺町と連携した町をPRする冊子作り



越前町の越前水仙再生に向けたプロジェクト

4 機動的・効果的な大学運営

- 外部からの資金獲得強化などによる財務内容の改善
- 安全で利便性の高いシステム・ネットワーク構築によるDXを推進
- ダイバーシティ社会や環境に配慮した取組みを推進



第4期中期計画
全文はこちら



学生広報 協力スタッフ 発案! 福井県立大学の クラブ&サークル 紹介 他学部との学生と つながるチャンス! クラブ&サークル 紹介 福井県立大学にはバラエティ豊かな公認クラブ・サークルがあります。 また、永平寺キャンパス、小浜キャンパスそれぞれに学内のイベントを運営する学生団体があります。 大会入賞目指して汗を流したいあなたも、ゆるく同じ趣味の仲間とつながりたいあなたも、 県大のクラブ・サークルをのぞいてみませんか?

クラブ&サークル一覧 ※2025年4月1日現在

永平寺キャンパス

体育系

アメリカンフットボール部
 カバディサークル
 弓道部
 男女バドミントン部
 剣道部
 サッカー部
 女子アイスホッケー部
 女子バレーボール部
 水泳サークル
 スノースポーツ部
 ソフトテニス部
 ソフトバレーサークル
 男子アイスホッケー部
 男子ソフトボール部
 男子バスケットボール部
 男子バレーボール部
 男子フットサル部
 男女硬式テニス部
 ダンス部JEEZ
 バスケットボールサークル

文化系

パラグライダー部
 ハンドボール部
 福井県立大学 カヌー部
 福井県立大学 よっしゃこい
 陸上競技部
 BBSサークル
 Open the Sesame
 アウトドアサークル
 アカペラ部 Tran -Baccano
 アコースティックギターサークル部
 裏千家茶道部
 エシカルサークル
 演劇部「劇団くらげ」
 オカルトサークル
 お笑いサークルFPU-O
 キッズボランティアサークル「れいんぼー」
 競技かるたサークル
 教職サークル

その他

恐竜サークル「DiNo」
 軽音楽部
 コミットサミット
 写真部
 書道サークル
 チャレンジサポートサークル (CSサークル)
 つぐみラボ
 デジタルクリエイティブサークル
 七盤サークル
 日本遊戯振興会
 農業サークル
 ハイキングサークル
 福井県立大学 管弦楽部
 福井県立大学 ジャグリングサークル Jackal
 福井県立大学 ジャズ研究会サークル
 文芸部
 ボードゲームサークル
 星空サークル
 YOLOサークル

小浜キャンパス

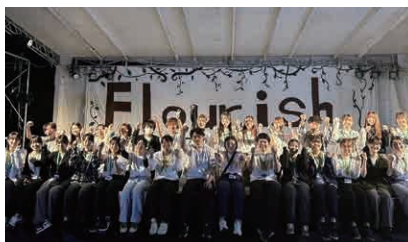
体育系

小浜キャンパスアイスホッケー部
 小浜キャンパスアメリカンフットボール部
 小浜パラグライダー部
 球技サークル
 弓道サークル小浜支部
 シーカヤックサークル
 ダンス部JEEZ小浜支部
 バレーボール部
 ライフセービング部
 レジャースポーツサークル

文化系

アカペラサークル
 油絵部
 軽音楽部
 地域水糟サークル フィッシュェンド
 地域プレイヤー交流サークルSUNAGARU
 ピーチクリーンサークル
 美食サークル
 遊狩漁部

学友会



企画・運営に興味のある方にぴったりのサークルです! 私たちと一緒に大学を盛り上げましょう!

海友会



海友会に入って最高の大学祭を作り上げていきましょう!

アカペラ部 Tran -Baccano



部員全員アカペラ未経験からのスタートです! 音楽が好きな方ならどんな方でも大歓迎です!!

アメリカンフットボール部



週4日活動しています。部員全員が未経験で誰もが活躍できるスポーツです。最高の仲間とともに最高の4年間を過ごしませんか。

裏千家茶道部



ゆったりおしゃべりしながら抹茶とお菓子を楽しみませんか?

エシカルサークル



SDGs、ボランティア、フードロスなど地球のために活動しています。

演劇部「劇団くらげ」



あなたの「好き」を生かして、一緒に劇をつくりませんか?

弓道部



初心者も経験者も大歓迎! 弓道に少しでも興味がある方は是非!

ジャグリングサークル Jackal



ジャグリング初心者大歓迎! みんなで楽しく練習しましょう!

水泳サークル



イベントや大会が充実していて、和気あいあいと活動しています!

Open The Sesame



献血の呼び掛けをお手伝いするサークルです。

軽音楽部



バンドしたい人大募集! 大学から楽器を始めた人がほとんどなので、初心者の方でも大歓迎です◎

写真部



写真を撮ることが好きな人、大歓迎! カメラを持ってなくても大丈夫です! 撮影旅行もありますよ~📷

ソフトバレーサークル



楽しく運動したい、学生生活を盛り上げたい人たちはぜひソフトバレーサークルまで!

きッズボランティアサークル れいんぼー



子供たちと一緒に遊んだり学習支援をするボランティアをしています!

剣道部



剣道経験者も未経験者も大歓迎です! 興味のある方は一度ぜひ見学に来て下さい!!

女子アイスホッケー部



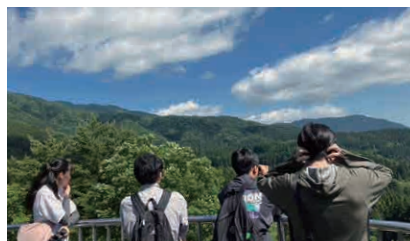
全員初心者! 楽しい! 充実した大学生活!!

チャレンジサポートサークル (CSサークル)



キッチンカー出店、作品展示などやってみたいことがある人におすすめです!

つぐみラボ



福井県の自然や生き物にちょっと詳しくなろう！集まれ、生き物好き！

農業サークル



大学からすぐの近くの畑をお借りしてゆるいかんじで農業やっています。

ハンドボール部



経験者・初心者関係なく楽しく活動しています。

BBSサークル



地域のお兄さん・お姉さんのような存在となって地域での居場所を作るボランティア活動を行っています。皆さんと一緒に活動できることを待っています。

福井県立大学 管弦楽部



福井大学医学部と合同でオーケストラをやっています。

福井県立大学 よっしゃこい



福井大学と一緒に活動している、学生のインカレサークルです！

文芸部



創作活動に興味がある方、創作物を読みたい方、どちらも大歓迎

ボードゲームサークル



毎週2日放課後からボードゲームをするアットホームなサークルです！

遊狩漁部



小浜キャンパスで活動しています。河川や海に水生生物を採集しに行ったり、生物や環境系のイベントに参加したりしています。

ライフセービング部



海好き、体動がしたい、水泳が得意な人など大歓迎！他学年と交流が持てる部活なので少しでも興味がある人は体験だけでもお待ちしています！

もっと詳しい クラブ・サークル情報は

クラブ・サークルの活動日や場所、連絡先を掲載！
どんな活動があるのか興味のある新入生も、
今から参加してみたい上級生も要チェック！



令和6年度 学位記授与式挙行

3月21日(金)、永平寺キャンパス講堂で令和6年度学位記授与式を挙行了しました。今年度は、学部386名、大学院41名の計427名が本学での学びを修め、岩崎行玄学長から各学科・専攻の代表者に学位記が授与されました。



学生表彰受賞者

併せて学業成績や学術研究などで特に顕著な功績を上げた学生に対して学生表彰を行いました。

成績優秀賞

各学科卒業生から選出された成績優秀者です。

伊藤 友美
(経済学部 経済学科)

山田 嘉幸
(経済学部 経営学科)

工藤 葵
(生物資源学部 生物資源学科)

宗近 眞子
(生物資源学部 創造農学科)

岩崎 あずさ
(海洋生物資源学部 海洋生物資源学科)

古谷 七海
(看護福祉学部 看護学科)

明 ひなた
(看護福祉学部 社会福祉学科)



優秀論文賞

各専攻修了生から選出された論文優秀者です。

趙 智浩 (経済・経営学研究科 地域・国際経済政策専攻)
「中国の財政調整制度が土地財政努力に与える影響」

佐々木 美有 (経済・経営学研究科 経営学専攻)
「租税法上における住所概念の明確化
ー住所の判断基準の検討を中心にー」

笛木 麗奈 (生物資源学研究科 生物資源学専攻)
「重イオンビーム照射によって作出した
「ふくこむぎ」硬質粒変異体の選抜と解析」

日山 津奈美 (生物資源学研究科 海洋生物資源学専攻)
「褐藻セイヨウハバノリの光依存的な遊泳細胞放出機構の解明」

学術研究活動の部

特に優れた学術研究活動を行った学生が受賞します。

芝 日菜子 (生物資源学研究科 生物資源学専攻 博士後期課程 1年)
日本育種学会第146回講演会において「優秀発表賞」を受賞しました。日本学術振興会特別研究員にも採択され、福井プレカレッジ等、研究のアウトリーチ活動も積極的に実施しました。

平野 羽留 (生物資源学研究科 生物資源学専攻 博士後期課程1年)
米キャピタラー社の日本法人が主催する「第7回キャピタラーSTEM賞」において研究奨励賞を受賞しました。
日本・世界の持続的な発展に向けた未来志向のアイデアが高く評価されました。

待井 優花、塚本 真央 (海洋生物資源学部 海洋生物資源学科2年)
1年次の海洋生物資源学フィールド演習Ⅰにおいて新種の細菌株を単離、その特徴を共同筆頭著者として論文にまとめ、国際誌「Microbiology Resource Announcements誌」に2報「Antonie van Leeuwenhoek誌」に1報が掲載されました。

社会活動の部

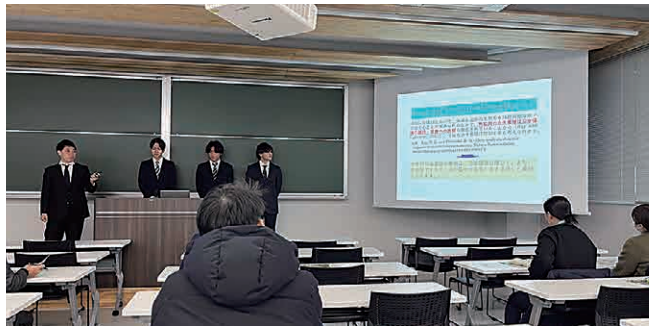
特に優れた社会活動を行った学生が受賞します。

村上 雄哉 (海洋生物資源学部 海洋生物資源学科 4年)
子どもが魚と触れ合う体験を提供する団体「つりーく」の立ち上げや、ふくいエキセントリックカレッジでの養殖場のエサの開発などを通じて、溪流釣りができる自然と後継者不足に悩む奥越の養魚場の振興に取り組みました。

おめでとうございます！



福井県立大学30周年研究プロジェクト 「輸入品目を福井産へ」研究成果発表会を開催



本学において約3年間にわたり進めてきた、福井県の農業、水産増養殖業の持続的発展に貢献することを目指す「福井県立大学30周年研究プロジェクト「輸入品目を福井産へ」」の研究成果発表会を小浜キャンパス、あわらキャンパスで開催しました。

今後も福井県の持続可能な発展に貢献する研究を推進していきます。

＜ 研究成果発表一覧 ＞

生物資源学部

福井県の気候に合うパン用小麦の品種開発 村井 耕二 教授

シリアル食品原料の穀物品種の開発 西嶋 遼 准教授

県産乳酸菌によるチーズ開発 日井 隆雄 教授

福井県の気候に合う大豆の品種選定と作型構築 森中 洋一 教授

植物性代替肉加工・調理方法の開発 高橋 正和 准教授

海洋生物資源学部

マサバ用飼料におけるミズアブの利用性に関する研究

佐藤 秀一 教授、細井 公富 准教授

計画生産とコスト削減を両立させる給餌システムの開発

富永 修 特命教授

小浜湾発の新ブランドガキの創出 浜口 昌巳 教授 ほか

シンガポール異文化コミュニケーション研修を実施



2月17日(月)～21日(金)、本学学生19名がシンガポールポリテクニクで異文化コミュニケーション研修に参加しました。研修先在校生のサポートのもと、英会話の基礎や異文化に関連した興味のあるトピックについて学び、現地の観光客等へのインタビュー調査などを通して、英語力向上や多文化理解につなげました。研修最終日には、学生自身が設定したテーマについて英語でのプレゼンテーションを行いました。

生物資源学部 村井耕二教授が 福井県科学学術大賞を受賞



福井県版ノーベル賞である第20回福井県科学学術大賞を生物資源学部の村井耕二教授が受賞しました。村井教授は、世界に先駆けて小麦の開花時期を制御するWAP1遺伝子を発見し、この知見を基に、冬の寒さに強く、梅雨前に収穫できる「ふくこむぎ」の開発に成功しました。

これにより、冬作が大麦だけであった福井県農業において、小麦という新たな冬作物の栽培が可能となり、本県の農業振興に役立っています。

脱炭素技術開発の連携に関する 四者協定を締結しました



3月6日(木)、本学と福井大学、産業技術総合研究所、福井県との間で、脱炭素技術開発の連携に関する四者協定を締結しました。本協定は、2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、そのキーテクノロジーである二酸化炭素の排出削減につながる技術(脱炭素技術)に関する協力を行うことで、持続可能なものづくりサイクルの構築を実現し、我が国の製造業の持続的な発展に寄与することを目的としています。

県大初! 学生による大学発ベンチャー企業が誕生



3月17日(月)、「株式会社sa-mo」を大学発ベンチャー企業の第4号として認定し、同日、認定式および記者説明会を開催しました。「株式会社sa-mo」は、海洋生物資源学部4年の村上雄哉さんが、学生時代に取り組んできた養魚用飼料の研究成果を活かして設立した企業で、本学では初めての学生による大学発ベンチャー企業です。サーモン飼育に特化した環境にやさしく高品質な飼料の製造販売を行うほか、奥越の清流の流れる淡水養殖場を活用して、人にも環境にも良い高付加価値サーモンの生産、加工、販売を目指します。

日本・ブラジル外交関係樹立130周年 日伯学長会議に参加



1月31日(金)、ブラジル・サンパウロ市で開催された「日本・ブラジル外交関係樹立130周年記念日伯学長会議」に、本学は日本の公立大学として唯一参加し、気候変動など地球規模課題に関するテーマについて、本学における研究を紹介するなど、日本・ブラジル両国間の大学との研究・教育交流を深めました。

『福井県立大学つぐみ賞』受賞者

学術研究や課外活動等で活躍した学生・団体を表彰する「つぐみ賞」受賞者の皆さんです。

福井県立大学 「ちょうまち大調査!プロジェクト」メンバー
経済学科2年 創造農学科2年
榎田 爽良さん 前田 凜さん

生物資源学科1年
岩崎 日向さん 小林 稜河さん 小響 駿人さん
中森 智紀さん 山口 正人さん

海洋生物資源学科1年 先端増養殖科学科1年
小川 誠葉さん 井上 優気さん



自治体の「町」の読み方が福井・石川県境で「ちょう」、「まち」に分かれる謎を解明するため、地域活動プロジェクト「ちょうまち大調査!プロジェクト」に参加し、福井新聞社等の協力を得て、文献調査や地域住民への聞き取り調査を行いました。また、その活動が多くのメディアで取り上げられました。

生物資源学研究科 海洋生物資源学専攻
博士前期課程1年
武田 亜可理さん

地方公務員と大学院生を兼ねて活動し、水産物の市場調査や「海で繋がる座談会in小浜」などの地域交流を企画し、全国の漁業現場へ飛び回り、SNSで水産物の魅力について情報を発信しました。こうした活動が評価され、『地方公務員が本当にすごい!と思う地方公務員アワード2024』を受賞しました。



生物資源学研究科 生物資源学専攻
博士後期課程1年
平野 羽留さん

米国キャタピラー社の日本人が主催する理系分野で活躍する若手女性研究者を対象とした「第7回キャタピラーSTEM賞 研究奨励賞」を受賞しました。受賞テーマは「田植えをせず直接水田に種子を播くことで農作業を省力化できるイネ品種の開発」です。農業分野および大学院生として初の受賞となります。



先端増養殖科学科3年
小泉 晶さん
石田 律貴さん

農林水産省が実施する「第1回みどり戦略学生チャレンジ北陸大会」において、若手取材班賞、リスペクト賞を受賞しました。受賞テーマは「純小浜産カキプロジェクト～小浜の未来に残る水産業を目指して～」で、本学30周年研究プロジェクト(P8)で開発した小浜湾発の新ブランドガキについて地元若手漁業者と共に実用化試験を進めました。



海洋生物資源学科2年
待井 優花さん
塚本 真央さん

1年次の授業「海洋生物資源学フィールド演習Ⅰ」で小浜湾から単離した海洋細菌が新種であることを示し、「Leeuwenhoekiella obamensis」と命名したことを共同筆頭著者としてまとめた論文が微生物学の国際誌「Antonie van Leeuwenhoek」に掲載されました。



本学関係者の著書紹介

新版 人材開発辞典

経済学部 飛田 正之 教授 分担執筆
(東洋経済新報社、2024)

企業における人材開発について、近年のジョブ型雇用、ダイバーシティ、インクルージョンなどのキーワードを含め、雇用システム、人事、人材管理、教育訓練をベースとした約1,400語を精選した辞典。初学者から研究者、実務家まで理論と実践の両面のニーズに対応。



実践につながる教育相談 改訂版

地域連携センター 黒田 祐二 教授 編著
(北樹出版、2024)

「実践につながる」ことをテーマに、教育相談の考え方と方法を分かりやすく説明した教科書。教職課程のコアカリキュラムに対応し、『生徒指導提要』(2022年改訂版)の内容や最新データも盛り込まれている。特に初学者が学びを深められるようになっている。



ウィキペディアタウン・ハンドブック 図書館・自治体・まちおこし関係者必携

地域経済研究所 青木 和人 教授 著
(文学通信、2024)

ウィキペディアタウンとは、自分たちの地域のことを、みんなでウィキペディアに書いてみよう!という取り組みです。まちあるきや、まちおこし、図書館でのイベント等、さまざまな場面で行われています。そんなウィキペディアタウンはどう行えばいいのかが、初めての方にも分かりやすく紹介します。



新役員等の紹介



理事長
窪田 裕行
くぼた ひろゆき



学長
岩崎 行玄
いわさき ゆきもと



副学長(総括)
情報センター長
国際センター長
図書館長
横山 芳博
よこやま よしひろ



副学長(地域連携)
地域連携センター長
共通教育センター長
北島 啓嗣
きたじま ひろつぐ



副学長
(学生支援・ダイバーシティ推進)
学生部長
保健・学生相談センター長
石丸 香苗
いしまる かなえ



事務局長
宮崎 俊宏
みやざき としひろ



特任学長補佐
(ハラスメント対策)
塚原 典央
つかはら のりお



経済学部長
経済・経営学研究科長
藤野 秀則
ふじの ひでのり



経済学科長
桑原 美香
くわはら みか



経営学科長
徳前 元信
とくまえ もとのぶ



生物資源学部長
深尾 武司
ふかお たけし



生物資源学科長
西原 昌宏
にしはら まさひろ



創造農学科長
木元 久
きもと ひさし



海洋生物資源学部長
生物資源学研究科長
水田 尚志
みずた しょうし



海洋生物資源学科長
吉川 伸哉
よしかわ しんや



先端増養殖科学科長
末武 弘章
すえたけ ひろあき



看護福祉学部長
看護福祉学研究科長
健康生活科学研究科長
笠井 恭子
かさい きょうこ



看護学科長
大島 千佳
おおしま ちか



社会福祉学科長
吉弘 淳一
よしひろ じゅんいち



恐竜学部長
恐竜学研究所長
西 弘嗣
にし ひろし



恐竜・地質学科長
神谷 隆宏
かみや たかひろ



地域経済研究所長
松原 宏
まつばら ひろし



生物資源開発研究センター長
森川 峰幸
もりかわ みねゆき



海洋生物資源臨海研究センター長
佐藤 秀一
さとう しゅういち

新任教員の紹介

経済学部 経営学科



教授
村松 洋介
むらまつ ようすけ

(専門分野)
租税法、行政法、公務員法、
労働法、社会保障法
(担当科目)
税法

社会に出てからも学びは続きます。大学時代は学習、勉強の仕方(メタ学習能力)を習得することが重要です。税法の学習を通じて、こうした技法を身につけていきましょう。

経済学部 経営学科



准教授
石崎 琢也
いしざき たくや

(専門分野)
企業論
(担当科目)
企業論、日本経営史、
基礎ゼミナール、教養ゼミナール

研究対象は、ホスピタリティ産業におけるイノベーションです。最近はとくに観光業、鉄道業に興味を持っています。みなさん一緒に頑張りましょう。

看護福祉学部 看護学科



助教
井狩 知幸
いかり ともゆき

(専門分野)
公衆衛生看護学

教員として母校に帰って参りました。神経難病の多発性硬化症に関する看護研究に取り組んでいます。

恐竜学部 恐竜・地質学科



教授
安藤 寿男
あんどう ひさお

(専門分野)
地質学、古生物学、堆積学
(担当科目)
地球環境学概論、地層学、
古生物学概論

「地球科学者になりたい」という少年時代の夢が叶って、地質・古生物学者として、福井でもフィールドワークに挑戦します。

恐竜学部 恐竜・地質学科



教授
高田 裕行
たかた ひろゆき

(専門分野)
古生物学
(担当科目)
古生物学概論

微化石(通常1mm以下)の古生物学を専門としています。小さな化石の研究から、地域の歴史を紐解きましょう。

恐竜学部 恐竜・地質学科



教授
土屋 正史
つちや まさし

(専門分野)
実験古生物学・海洋生物学
(担当科目)
海洋生物学、進化生物学

いま生きている原生生物(有孔虫)がどのように適応し進化してきたのか、地球規模の環境変化の中でどのように適応していくのかを一緒に解明しましょう!

恐竜学部 恐竜・地質学科



准教授
中村 英人
なかむら ひでと

(専門分野)
有機地球化学、分子地球生物学
(担当科目)
地学概論

地層や化石に残された分子レベルの痕跡を手掛かりに、恐竜時代の生態系や地球環境の復元に挑みます。

恐竜学部 恐竜・地質学科



助教
大山 望
おおやま のぞむ

(専門分野)
デジタル古生物学

日本にはまだまだ未着手の昆虫化石がたくさん眠っています。それらを一緒に研究しませんか?

恐竜学部 恐竜・地質学科



助教
木下 峻一
きのした しゅんいち

(専門分野)
デジタル古生物学

マイクロX線CTなど、最新のデジタル技術を活用し、主に小さな古生物と環境の関係を研究しています。

国際センター



准教授
古藪 真紀子
こやぶ まきこ

(専門分野)
国際開発学、ジェンダーと開発、
平和構築

国際協力の実務者として、また多くの留学生を支援した経験から、国際人材の育成と多文化理解を促進したいと思います。

地域経済研究所



教授
三橋 浩志
みつはし ひろし

(専門分野)
経済地理学、イノベーション政策、
社会科教育学

地域イノベーションのメカニズムと政策を研究しています。その際の人材育成や教育の在り方なども研究しています。